

国際帝国主義の侵略反革命・第三世界支配を粉碎し、全世界の帝国主義を打倒せよ！世界プロレタリア革命—世界プロレタリア独裁—共産主義を実現する新しいインターナショナル（世界単一党）を国際階級闘争の最前線に創建せよ！

12月アジア共同行動へ

ネパールの総選挙で共産党が躍進

◆烽火年間総目次

1994年

12月1日

第473号

編集発行人 海路 薫

一部 300円

烽火

ZOROSHI

共産主義者同盟（全国委員会）

■ 大阪戦旗社 大阪市北区本庄西2-8-19

明豊ビル401号 大労協内

TEL.(06)371-3706

○郵便振替 00930-0-63333

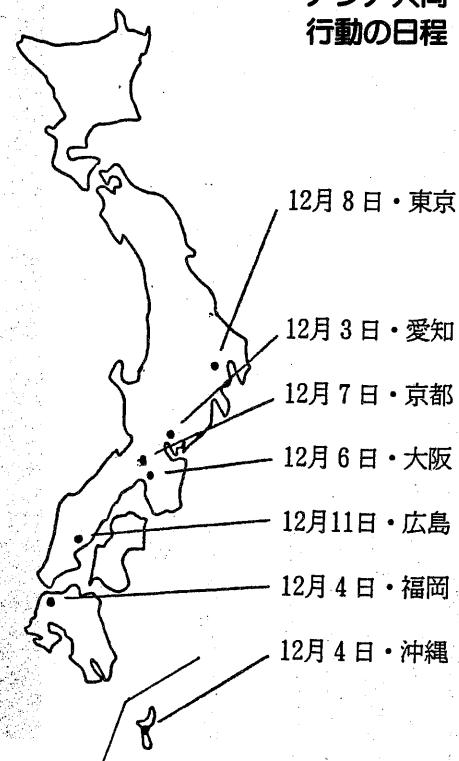
○銀行口座 第一勧銀 551-1058150



ネパールで共産党が躍進

選挙結果を5ページに掲載（写真は11月16日カトマンズ）

アジア共同行動の日程



通算で今回五回目となるアジア共同行動がこの一二月、AWC（日米軍事同盟と自衛隊の海外派兵に反対するアジア・キャンペーン）の呼びかけで行われようとしている。一二月三日の愛知集会を最初の企画として一一日の広島集会まで、全国七カ所で各種の集会や行動が予定されている。中心となるのは一二月八日、アジア太平洋安保セミナー反対！防衛庁抗議行動であり、当日は東京で安保理常任理事国入り反対！アジア人民連帯集会も開かれることになっている（各地での取り組みの予定は四ページに掲載）。

一二月八日とはいうまでもなく、アジア・太平洋戦争の全面開戦日である。この日、日帝はハワイ・真珠湾の米海軍基地への奇襲をもって米英等との間に戦端を開くとともに、これと前後してアジア・太平洋諸地域に侵攻した。真珠湾奇襲の約二時間前には日本軍はマレー半島に上陸し、続いてフィリピン、香港、グアムなどを攻撃した。一二・八は植民地領有をめぐった日・米英の帝国主義間戦争の開戦日であつただけでなく、同時にそれはアジア・太平洋地域を戦火で包んだ帝国主義の強盗戦争・侵略戦争の全面開戦日でもあった。日本は米英等とは戦争をしたがアジア諸国を侵略したとはいえない、などというような「史観」はまったくのペテンであり、歴史のねつ造である。日本帝国主義がアジア侵略戦争の歴史を清算しながら、アジアの新たな盟主として登場しようとしているいま、一二・八の真実を明らかにし、現実に進行する日帝の新しい侵略に対して何よりも日本の労働者人民が先頭でたたかい、そしてアジア人民と共にたたかうことの意義はきわめて大きい。

ことしの一二月アジア共同行動の日本での取り組みには、フィリピンのKMU（五月一日運動・労働運動センター）の代表が参加する。KMU代表の日本での発言や活動は、日本の労働者人民を国際主義に目覚めさせていくうえで大きな助力となるであろう。われわれはこのような海外の友人の援助をも受けながら、日本のたかう労働組合・大衆団体の総結集をもって、一二月アジア共同行動の成功を何としてもまちとていかねばならない。そしてこのたたかいの成果をひっさげて、九年闘争にのぞんでいこう。

回連帶在理入り阻止

ア・ジ・ア・大・平・洋・安・保 セ・ミ・ナ・リ 粉・碎・せ・よ

全国各地で共同行動の成功を

第二次大戦の終結から五〇周年を迎える九五年を目前にひかえ、共産主義者同盟（全国委員会）はすべてのたたかう労働者人民に一二月の政治アピールを送りたい。

村山自社連立政権は、日帝の侵略反革命の強化にむけた反人民的な一連の攻撃をうちおろしている。消費税税率アップなど税制改革による大増税、衆院区割り法による小選挙区比例代表並立制の完成化、ルワンダ周辺国への自衛隊派兵、国連安保理常任理事国への立候補表明、さらに自衛隊機の無制限な海外出動を狙った自衛隊法改悪などの攻撃がうち続いている。このようなかで、議会内抵抗政党であった社会党的総転向を機にして、諸政党の総翼賛政党化が一挙に進んでいる。それはまた保守二大政党体制への事実上の移行である。

そして来年、戦後五〇周年（国連設立五〇周年）を格好の材料として、日帝は元軍隊慰安婦などアジア人民からの戦後賠償要求を欺まん的に決着づけ、国連安保理常任理事国入り、憲法改悪等を策動しながらアジアにおける支配的帝国主義に飛躍しようとしているのである。これに呼応し読売新聞は「憲法改正試案」を紙上発表し、「自衛組織の保持」「国際機関に自衛組織の一部を提供」などと、自衛隊合憲と国連PKOを通じた自衛隊海外派兵を明記した改憲への世論誘導をはじめた。

このような大政治反動と侵略反革命攻撃の激化に対し、全国各地でたたかわれる一二月アジア共同行動をもって総反撃し、反日帝国際主義プロレタリア大衆政治統一戦線の拡大・発展を通じて、保守二大政党との新しい階級闘争構造を準備していくことは決定的に重要である。ともに総力をあげて一二月アジア共同行動のたたかいに立ち上がり、日本・アジアを貫いた国際共同行動と反帝国際統一戦線の前進によって、九五年の扉をおし開いていこうではないか。

集団安保機構創設許すな

一二月における先進的労働者・学生の任務の

全武装した自衛隊員約四八〇人が投入された。

第一は、自衛隊海外派兵の強化・拡大の攻撃に対し、これを全面的に暴露し、アジア派兵体制の要となる常任理事国入りおよびこれと連動したアジア集団安保機構の創設策動をアジア人民との国際共同行動によって粉碎することである。

ルワンダ周辺国への自衛隊派兵は、「自己完結型」と呼ばれる戦後初の日帝單独の派兵であった。しかもこれには装甲車、機関銃、小銃で完

成する。また一二月には、「邦人救出」の名目で自衛隊機の海外出動を合法化する自衛

隊法一〇〇条の改悪が強行された。このようななかで村山政権はPKF凍結解除を打ち出している。

自衛隊海外派兵の強化・拡大は誰の目にも明らかである。そしてその目的も次第に鮮明になってきている。「人道的援助」とか「国際平和と安全に寄与」とか「地域紛争の解決」など、日帝は「国際貢献論」を自衛隊海外派兵の論拠としてきた。しかし、実際には日帝の帝国主義的権益を防衛・拡大するためにのみ自衛隊の海外派兵は拡大しているのだ。日帝は、日本資本にとって最大の権益圏であるアジア地域における自衛隊派兵体制を構築することにいよいよ照準をあわせてきている。

「冷戦」崩壊後、日帝はあたらしい軍事戦略を方向づけた報告書「日本の安全保障と防衛力のあり方」を首相の私的諮問機関である防衛問題懇談会に作成させた。それは、米軍事戦略の後方支援という受動的でしかなかったこれまでの軍事戦略のあり方を抜本的に転換し、米軍と日米安保にのみ依拠しない能動的建設的な「多角的安全保障」が必要という主張を打ち出し、また「多角的安保協力」の具体的形態として国連PKO、あるいはアジア太平洋地域で初の多国間安保會議としてことし七月発足したASEAN地域フォーラム（ARF）や日米安保などをあげている。そして防問懇報告は、「地域紛争」やアジア諸国資本主義発展に伴うさまざまな利害対立の危険性・不安定要因を日本が今後対処すべき主な対象としてあげ、日本の主導下でアジア集団安保機構が創設されるべきであると表明している。さらにはこの報告には、こうした自衛隊アジア派兵体制構築の狙いを実現するため、国連PKOを自衛隊の基本業務に格上げすること、PKF解除、予備自衛官制度を拡充することなどが盛り込まれている。



アジア人民の怒りに応えよう

(写真は本年6月15日のフィリピンでのアジア共動行動)

本年一二月初旬、防衛庁の主催で「アジア太平洋諸国安全保障セミナー」が約二週間の日程で、米、豪、中国、ロシア、ニュージーランド、カナダ、ブルネイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、韓国、シンガポール、タイ、日本の一四カ国の軍隊の中佐あるいは少佐の参加によって行われようとしている。これは各国のいわゆる制服組がアジア太平洋地域全体の安全保障問題を議論しようとするもので、まさに日帝の主導するアジア集団安保機構の創設にむけた歴史的ふみだしである。日帝はアジア権益圏を実力で防衛・拡大するために、国連安保理常任理事国となってアジアに君臨するとともに、米帝やアジア諸国の支配階級と結託して、アジア太平洋地域連合軍の創設をも展望してアジアにおける軍事的覇権を確立しようというのだ。こうした日帝の策動は、かつての日本軍の侵略と支配によって言語に絶する犠牲を受けたおびただしいアジア諸国人民の怒りを噴出させ、軍隊慰安婦や軍人・軍属などを強制された人々の戦後補償要求のたたかいに火をつけただけでなく、日本独占資本による強奪取強収奪・生活破壊・環境破壊の攻撃を現在、受けているアジア人民の内部に激しい批判を蓄積させていく。ア人民の戦後補償要求に対して日帝は、約百億円の「平和友好交流計画」「女性職業訓練センター構想」、元軍隊慰安婦への「民間基金と見舞金」などを策動し、その欺まん的決着を画策している。元軍隊慰安婦など戦後補償をもとめてたたかうアジア人民は、アジア侵略戦争への国家的謝罪と個人補償を要求し、「民間基金」計画の白紙撤回をもとめ、また責任者の処罰や日本の国連常任理事国入り反対をまったく正當にも表明している。われわれ日本労働者

は、このたたかいをつくりあげていくことが問われている。

一二月アジア共同行動においては、戦後補償問題の欺まん的決着を許すな！国連安保理常任理事国入りーアジア集団安保機構の創設策動粉碎・自衛隊海外派兵の強化ーPKF凍結解除阻

人民には、これに応えるたたかいをつくりあげていくことが問われている。

一二月アジア共同行動においては、戦後補償問題の欺まん的決着を許すな！国連安保理常任理事国入りーアジア集団安保機構の創設策動粉碎・自衛隊海外派兵の強化ーPKF凍結解除阻

階級闘争の新たな構造を

一二月における先進的労働者・学生の第一の任務は、保守二大政党支配の到来に備えつつ、社会党から離反する護憲派・たたかう労働運動・市民運動などを一二月アジア共同行動に糾合し、アジア人民と連帯し日帝と正面から対決する大衆的政治統一戦線を全国的に形成し、わが国的新たな階級闘争構造の橋頭堡をたたかいていくことである。

社会党の総転向と解党の動き、小沢らの新・新党（新進党）結成など、あらたな選挙制度を見えた選挙戦がすでに始まり、日帝のアジア侵略反革命の推進という基本戦略では同じ土俵に立つブルジョア政治家どもの椅子取りゲームが激しくなっている。これに対抗するべく社会党からの離反者など護憲派やたたかう労働運動・市民運動などの内部から、護憲新党など保守二大政党支配に抵抗する政治勢力を形成しようとする動きが始まっている。こうした抵抗勢力が日帝の派兵・改憲攻撃やさまざま反人民的政策と議会内外を貫いて正面から対決する大衆運動を開拓し、わが国労働者人民の抵抗闘争を促進しようとする限り、われわれは彼らを断固支持する。同時に、これらの抵抗勢力の

先進的部分を、日帝のアジア支配とたたかうアジア人民への国際的支援と国際共同行動を組織してきた「日米軍事同盟と自衛隊の海外派兵に反対するアジア・キャンペーン」（AWC）が呼びかける一二月アジア共同行動に組織し、国際主義に目覚めさせ、大国主義・帝国主義的排外主義と分岐させ、日帝との正面戦をたたかう大衆的政治統一戦線の形成に合流させていくことが決定的に重要である。

社会党の歴史的な総転向と解党への動き、保守二大政党制による政治支配体制の再編という現在の政治情勢は、ソ連・東欧崩壊後、一挙に顕在化した米・日・欧州の帝国主義間対立・抗争、そしてこのなかでの日帝の生き残り戦略へ抗争勢力が日帝の派兵・改憲攻撃やさまざま反人民的政策と議会内外を貫いて正面から対決する大衆運動を開拓し、わが国労働者人民の抵抗闘争を促進しようとする限り、われわれは彼らに勝ち抜いていくことが日帝には問われている。代表的には小沢のいう「普通の国家」なる自國軍隊の海外派兵を可能とする国家体制への歴史的転換が日帝には必要になっている。

日帝のアジア経済支配による超過利潤のところによって買収されてきた帝国主義労働運動の連合と独占ブルジョアジーが結託し、社会党をその内部から保守党へと総転向させ、社会党の全面的な協力を条件にして、自衛隊の無制限な海外派兵体制構築と憲法改悪の動きが本格的にはじまった。そうである以上、護憲新党などの抵抗勢力の努力がミニ社会党形成運動にとどまるなら、それは歴史のエピソードに終わるはない。そうではなく、日本独占資本の侵出とたたかうアジア人民の階級的利益と結合する国際主義実践にわが国労働者人民を組織する大衆的政治闘争とその統一戦線を創出し、これを新しい階級闘争の基盤として建設し、わが国階級闘争を再建する道こそがめざされねばならない。したがって対米従属論によって日帝を免罪し、社会民主主義に転落した日本共産党もまた決定的に誤まっており、あるいは共産主義を放棄し、たさまざまな現代カウツキー主義諸派の没落級

止！そしてアジア人民の国際共同闘争を発展させよう！のスローガンをかけ、とりわけ一二月八日の防衛庁主催のアジア太平洋安保セミナー開幕式を頂点に、日帝のアジア侵略反革命と全国各地で総対決していくことをわれわれは切に訴える。

先進的労働者・学生の第三の任務は、一二月アジア共同行動を成功させ、九五年の戦後五〇周年をテコとした日帝の戦後補償問題の欺まん的決着と安保理常任理事国入り策動を阻止する日本全国、およびアジア諸国・地域を貫いたキャンペーン運動を準備し、「日米軍事同盟と自衛隊の海外派兵に反対するアジアキャンペーン」(AWC)総会=第二回アジア国際会議の開催にむけてたたかうことである。

一二月アジア共同行動においては、一二月三日、愛知集会、四日、九州・山口集会、沖縄集会、六日、大阪集会、七日、京都集会、八日昼対防衛厅抗議行動、夜、アジア人民連帯集会、一一日、広島集会という一連の集会や諸行動が予定されている。

AWC国際事務局は、この一二月アジア共同行動の成果をもって、来年秋に予定されている日本でのAWC総会=第二回アジア国際会議を呼びかけ、来年早々にも、ネパールでAWC国際幹事会(フィリピン、ネパール、台湾、日本の代表が参加)を開催しようとしている。AWC運動と結合した一二月アジア共同行動の各地方実行委員会は、引

き続き戦後補償問題の欺まん的決着を許さず、日帝の国連安保理常任理事国入りに反対するキャンペーンを全国的・アジア的規模でつくりだし、日帝ブルジョアジーの「戦後五〇周年キャンペーン」の攻撃と対決していくなければならない。

そのためにも、こうした全国的運動とAWC総会=第二回アジア国際会議の日本実行委の形成を結びつけた新たなたたかいを開始しなければならない。

すべての労働者・学生諸君! 一二月アジア共同行動の成功を断固としてたたかいとり、アジア諸国人民の国際共同行動と国際的な統一戦線の発展にむけ、AWC総会=第二回アジア国際会議をたたかいたいところではないか。AWCは九二年一〇月、日本、フィリピン、ネパール、インドネシア、台湾、韓国、インド、バングラデシュ、マレーシア、東チモール、香港、オーストラリアの一二カ国・地域のたたかう諸団体の結集のもとで発足した。以降二年間、毎年六月と一二月にアジア共同行動がたたかわれ、AWC運動はアジア人民の連帯と交流と團結を促進してきた。他方、日帝はますますアジアにおける軍事的突出を進め、国連常任理事国入りア

95年AWC総会の準備を

的抵抗勢力づくりも決定的な限界をもっているのである。

われわれは一二月アジア共同行動を全国各地で組織し、反日帝国主義プロレタリア大衆政

治統一戦線の全国化を展望し、保守一大政党支配下でのあらたな階級闘争構造の橋頭堡の建設をめざすことをすべての先進的労働者・学生に訴える。

ジア集団安保機構の創設というアジア派兵体制をつくりあげようとしている。九五年秋のAWC総会=第二回アジア国際会議の位置がもつ意義はばかり知れないほど大きい。それは、日帝のアジアにおける支配的帝国主義への飛躍を前にして、これと正面戦をたたかう日本のみならず全アジア人民の反帝国際統一戦線の建設という歴史的偉業にAWCに結集するたたかうアジア人民が踏みだそうとしているからである。われわれはぜひひとつの課題を前進させていかねばならない。

ともに九五年のAWC総会=第二回アジア国際会議の成功にむけ奮闘しようではないか。

一二月アジア共同行動の成功のために、すべての先進的労働者・学生は総力をあげよう。



本年6月15日の東京でのアジア共動行動

●12月アジア共同行動・各地での取り組み (AWCリーフより)

12・8 東京

12・8 アジア共同行動

◎アジア太平洋セミナー反対! 防衛庁抗議行動
午後2時半 桧町公園(予定) 集会後防衛庁へ

◎安保理常任理事国入り反対! アジア人民連帯集会
午後6時半 南部労政会館
講演 内田雅敏さん(弁護士)

12・3 愛知

アジアの労働者の連帯を進め、
日本の国連常任理事国入りに反対する愛知集会

▶午後6時半 愛知県中小企業センター
▶講演 墓 総一郎さん(アスク)

12・4 福岡

アジア共同行動—九州・山口集会

▶午後1時 ひびき荘(北九州市)
▶ゲスト 金順吉さんなど

12・4 沖縄

アジアと連帯する沖縄集会—もう一つの(12・8)

▶午後4時 教育福祉会館(那覇市)
▶「もうひとつの12月8日—レーン・宮沢事件」上映と討論

12・6 大阪

アジア民衆連帯大阪集会

▶午後6時半 エル大阪
▶講演 西村卓司さん(全国一般長崎連帯支部)

12・7 京都

アジア共同行動京都集会

▶午後6時半 京都南労働セツルメント
▶講演 高屋定国さん(仏教大教授)

12・11 広島

アジア民衆のつどい

▶午後1時半 会場未定
▶講演 森正孝さん

ネパール下院総選挙

11月

共産党 第一党に躍進

労農が支配階級に反撃

さる一一月一五日、ネパールで下院の総選挙がおこなわれ、旧野党第一党であったネパール共産党（統一ML派）が旧与党であったネパール會議派を破り第一党に躍進した。その結果は別表のとおりであった。

◆襲撃事件頻発

ネパール共産党の選挙戦での勝利は、与党ネパール會議派と買弁資本家階級、国王派と地主階級の激しい反共産党宣伝と暴力的敵対をねのけてかちとられた。これらの背後で米帝と隣国インド支配層は共産党の勝利阻止にむけて、ネパール會議派と国王派に対する隱然・公然の援助をおこなった。

敵は潤沢な資金にものをいわせ、マスコミを動員して「共産党が勝利すれば外国の援助がとまり、ネパールは経済的に破たんする」というキャンペーンをまきちらした。ネパール會議派は政府機関はおろか国軍のヘリコプターをもみずから選挙運動に動員した。共産党運動員にたいす

る襲撃も頻発した。一一月四日にはネパール西部のダンにおいて共産党主催の大衆集会にたいしてネパール會議派と警察が襲撃砲砲をおこない、労働者一人が即死、三人が病院で息をひきとった。これは氷山のほんの一角にすぎない。

しかし、敵の全体重をかけた攻撃も、共産党の反撃とネパール人民の怒りを抑圧することはできなかつた。

コイララ政権の三年間は、王制を打倒した九〇年の民主闘争にかけた人民の期待を裏切る悪政の連続であつた。「経済再建」の名目でもって帝國主義の経済支配に門戸を解放し、その結果として失業と物価上昇が大衆の生活を直撃し経済生活はより悪化した。大衆の不満の声は抑圧され、民主的権利は奪いさられ、ネパール會議派と国王派とのゆきが進行した。これと並行して汚職、腐敗、閥族主義がはびこり、それは支配者間の利益の分り合戦をし烈なものとし、内反対派は公然と党公認の候補に無

所属の対抗馬をたて、帝國主義者ども必至の調停にもかかわらず、分主催の大衆集会にたいしてネパール會議派と警察が襲撃砲砲をおこない、労働者一人が即死、三人が病院で息をひきとつた。これは氷山のほんの一角にすぎない。

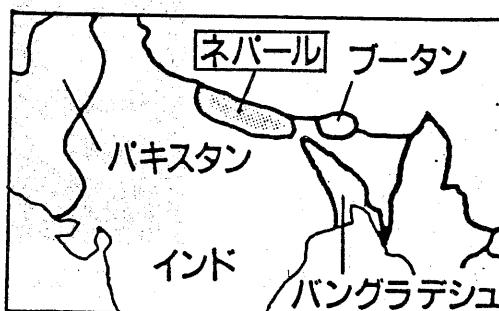
九〇年以来の三年間は、これらにたいして共産党が人民の先頭に立つてたたかい、都市貧困層・小作農・貧農層の組織を拡大し、また人民も

◆支援と連帯を

現在、共産党は、選挙での勝利をふまえて単独でも政府を組織するという基本方向を確立するとともに可能な連立工作を行つて、と報じられている。もちろんこの方針の実現には多くの糾余曲折があり、事態がどのように推移するかは正確には予測できない。しかし、ネパールの共産主義者は敵の妨害と反撃を予測しつつ、また多くの妥協と迂回を強いることを覚悟しつつ、政府の組織化に挑戦している。そしてその条件を利用して労働者・農民のよき力な組織化、共産党との強固な結合を実現し、そのことをつうじて真に労働者・農民の手に国家権力を握ろうとしている。



共産党の躍進を喜ぶ支持者たち(11月20日)



●94年ネパール下院総選挙の結果

政党	議席数
共産党（統一ML派）	88 (69)
ネパール會議派	83 (110)
国家民主党	20
労農党	4
サドババナ党	3
その他	7

※下院全議席 205。（）内は91年総選挙時

左翼政権誕生への期待を強めている三年間でもあった。

これらのこととが、首都カトマンズでの圧勝と農村部における支持の大として共産党的躍進をもたらしたのである。

ちなみに共産党が今回の選挙において掲げたスローガンはおおよそ次のようにものであつた。

①人権の擁護、多党制民主主義の土地所有を廢止し農地を耕すものの手に④工業を発展させ経済の自立をかちとる。民族資本の創出。労働者の生活と権利の擁護⑤低開発地域にたいする科学的・長期的開発計画の実行⑥外国援助や外国からの投資は国民生活の必要にしたがつて行う⑦母子の健康保護、乳幼児死亡率の低下を実現する。宗教・民族・性による差別反対。迷信の撲滅…。

これらのことが、首都カトマンズでの圧勝と農村部における支持の大として共産党的躍進をもたらしたのである。



全国の学生による現地共同闘争(11月8日)

天皇制の強化と対決し 京都

全国学生が共同闘争

建都一千二百年祭を撃つ

11・6~8

ことし一月から始まった平安建都一千二〇〇年記念事業の最大の行事である「記念式典」が、一月八日、京都の国立京都国際会館において行われた。すでに本紙第四七一号で明らかにしたように、大小あわせて一八〇〇ともいわれる関連行事によつて構成された記念事業とは、①天皇制の強化・政治舞台への全面登場をはかるものであり②天皇制イデオロギー攻撃を通じて日本人民の排外主義的統合を狙うものであり③天皇制

海外から連帯の声

一一月六日、天皇制の強化を許さない京都実行委員会の主催する講演集会が、約三五〇人の部落大衆、労働者・学生・市民の参加のもと、京都会館で開かれた。その後、円山公園に八人が結集して反対集会とデモが行われた。

続く七日、八日には、昨年来のアジア共同行動を首都圏、関西、西日

本で担つてきた学生たちによって結成された「反侵略アジア学生共同行動」に結集する全国の学生が集会と現地闘争とを貫徹した。

記念式典を翌日に控えた七日、「天皇の出席を許すな! 日本のアジア再侵略を阻止しよう! 建都一千二〇〇年祭粉碎! 一一・七全国学生集会」が京都部落解放センターで開催された。集会ではまず、アジア人民との連帯をうち固めるべく行われてきた昨年からの連続した全国学生の共同闘争の成果と、今後のたたかいの方向性が提起された。つぎに、「反侵略アジア学生共同行動」に結集する大学の諸団体や、呼びかけに応えて参加してきた各地の学生からの決意

表明が行われた。続いてフィリピンのLFS (フィリピン学生同盟)とインドネシアでたたかいを進めているグループからの連帯メッセージが読み上げられた。そして、京都において長く反天皇運動を担つてきた京都「天皇制を問う」講座実ど、日本軍事同盟と自衛隊の海外派兵に反対するアジア・キャンペーン(AWC)からの連帯発言が続いた。さらに、建都一千二〇〇年祭が天皇制を賛美するものであり、アジア侵略の強化を狙うものであり、アジア人民と連帯しこれを粉碎していくこう、という翌日の闘争に向けてた基調が確認され、力強いシユプレヒコールで集会はしめくづられた。

現地闘争たたかう

翌八日、「天皇の出席を許すな! 日本のアジア再侵略を阻止しよう! 建都一千二〇〇年祭粉碎! 一一・八全国学生共同闘争」が現地総決起闘争としてたたかわれた。この闘争には九〇人をこえる全国の戦闘的学生たちが結集した。午前一〇時、闘争参加者は式典会場の京都国際会議場近くの公園に密集した部隊で登場した。式典に天皇が参加しようとするとちょうどその同じ時、学生の集会は開始された。主催者からのアピール、首都圏、関西、西日本の学生たちから発言、そして呼びかけに応えて結集した労働者の発言が続く。周辺の

住宅街を圧倒するシユプレヒコールが行われたあと、いよいよデモが行われた。式典粉碎の決意に燃えて全国から結集した学生たちは、公安警察や機動隊を大量動員して介入・闘争破壊をもくろむ京都府警の弾圧体制をはねのけて進撃する。式典会場に通じる道を封鎖する装甲車・機動隊の阻止線にデモ隊は肉迫し、終始戦闘的なデモンストレーションをうちぬいた。

さらに夕方には場所を四条河原町交差点にうつして、一千二〇〇年祭の反人民性・侵略性を暴露するビラまきとマイク宣伝による市民へのアピールが行なわれた。そしてその後、式典の強行と天皇の出席を彈劾しアジア人民との連帯を訴えるデモンス

天皇の「お言葉」が述べられるとともに、日帝が海外侵略へと突撃していくための準備であった一〇〇年前の遷都一千二〇〇年祭を「意義深い記念事業」とほめたたえ、「世界の人々の相互理解と平和に大きく貢献することを理想として」かかげるとする「平安宣言」が読み上げられた。侵略と差別の象徴であり排外主義を振るるものであり、そしてこれらの総体を通じて日本帝国主義が関西ブルジョアジーをひきいながらアジア侵略を強めていくことを画策するものとしてあった。

こうした目的のため、天皇・皇后や外相河野、さらに外国の領事や一般市民など一四〇〇人を動員し、鳴り物入りで開かれたのがこの一千二〇〇年記念式典であった。式典では、隠ぺいするものであった。

こうした一千二〇〇年記念事業に対して、京都の地において一月六日から八日にかけて、連続して反対闘争・粉碎闘争が取り組まれた。

小沢らの新党準備会 11・24 党名・綱領・規約を決定

保守二大政党制への動き強まる

小沢一郎らにひきいられた新党準備会は、1月24日に総会を開き、「新進党」と名前を決めるなど、綱領・基本政策に示されるよう、この政党は日本帝国主義ブルジョアジーの利益を全面的に体現しようとする政党である。公明・民社を飲み込んで出発しようとする新進党は、ブルジョア政党以外の何ものでもない。新進党はその綱領で「自由・公正・友愛・共生の理念」を掲げ、「新しい日本」の創造、「たゆまざる改革」「責任ある政治」「志ある外交」等を主張している。それは「小沢綱領」

の焼き直しであり、保守勢力内部においてその「刷新」をめざす綱領である。基本政策「当面する重点政策」にはこの政党の性格がよりあらさまに示されている。憲法論議もタブーなく行う「論憲」、PKF凍結解除の検討、「国連改革サミット」の開催、「日本経済構造改革計画」の推進…。

新進党の結成は、1月24日に予定されており、これによって二大保守政党制に向かう流れが確定的なものとなり、政党再編成の動きにいつそう拍車がかかることとなる。われわれはこれに対峙し、日本階級闘争再建のたたかいをいっそう強化せねばならない。

「建都二二〇〇年祭」に反対する皆さんの集会・デモに対して連帯のあいさつを送ります。

皆さんのいうとおり、新関西国際空港の開港には日本帝国主義のアジア支配の狙いがこめられています。

またアジア太平洋経済協力閣僚会議(APEC)は、日本のアジア侵略

インドネシア

の道具となっています。APEC会議を通じて、アジア支配における日本同盟の役割ははつきりしてきます。

ともに共通の敵である帝国主義とのたたかいを進めていくことが求められています。

たたかいで、あなたたちの共同のたたかいのなかで、あ

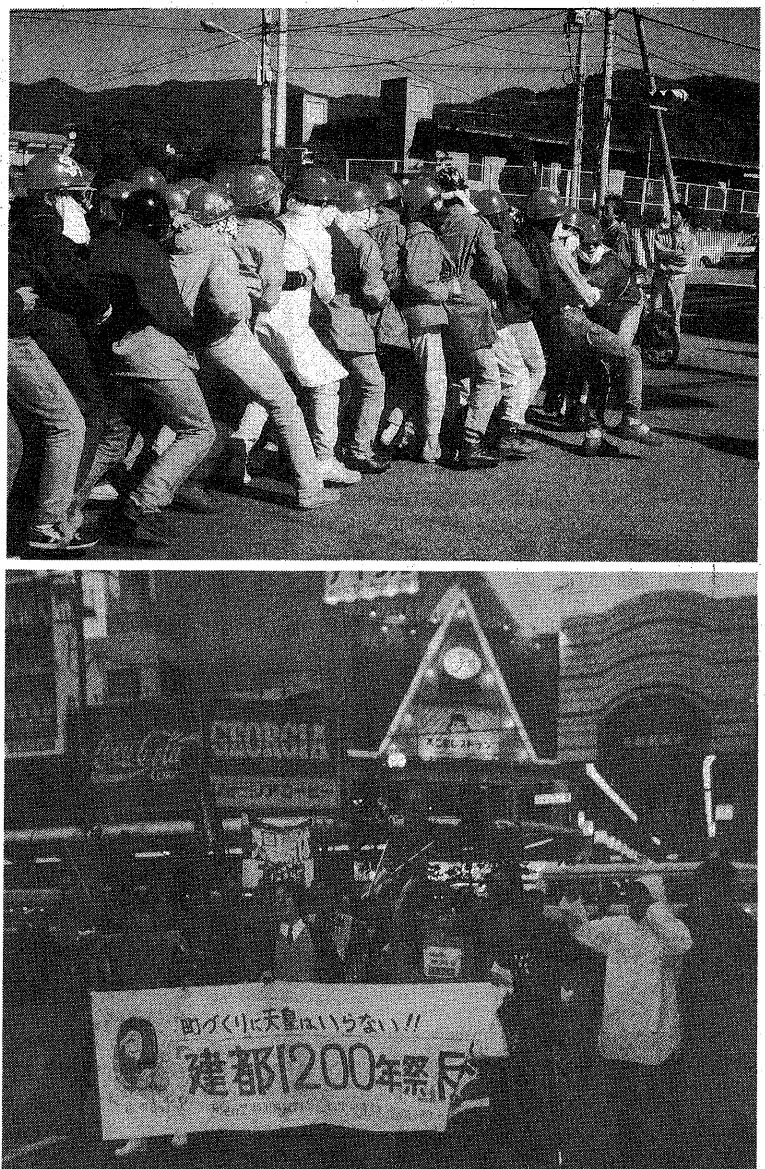
なた方の集会・デモが成功し、私たちの連帯がより強固なものとなつていくことを祈っています。

一九九四年一月五日

ジャカルタから

学生集会に寄せられた海外からのメッセージ 11・7

11・7



(上)記念式典会場に肉迫するたたかいでくりひろげる全国から結集した戦闘的な学生たち。(下)11月6日、集会を終え式典反対の市内デモをおこなう労働者・市民ら

トレーラーが貫徹され、一一〇〇年祭粉碎の全過程は終了した。

基調や集会発言のなかで何度もふれられていたように、日本のアジア侵略と天皇制の強化は、まさに一体のものとして進められている。こうしたなかでますます強められる排外主義の攻撃とたたかいい、アジア人民との連帯をより具体的により強固に作り上げていくたたかいで求められている。フィリピンのLFSや他のアジアの青年・学生運動との交流・討論・共同行動の積み重ねの上に準備された一一・七・八の連続闘争は、そのような内実を大きく前進させるものだった。

なた方の集会・デモが成功し、私たちの連帯がより強固なものとなつていくことを祈っています。

一九九四年一月五日

フィリピン

熱烈な戦闘的あいさつを。

現代世界体制―帝国主義―は悪夢に他なりません。歴史的に帝国主義の世界支配が出現したときには、戦闘的・革命的勢力が立ち上がり、窮

乏と抑圧に終止符を打つてきました。ふたたび軍事力をもってアジア太平洋諸国と全世界を支配しようとする自國政府の策動に反対して立ち上がった進歩的な日本人人民に対しても、LFSは連帯のあいさつを送ります。

「建都二二〇〇年祭」に抗議するあなたたちのたたかいをLFSは全力で支持します。

現在、中部ルソンにおいてはJICA(国際協力事業団)によるパンパンガ・デルタ・プロジェクトが進行中であり、地域の貧農たちが立ち退きを強制されており、プロジェクトが強行されれば多くの村が水没します。日本をはじめとする帝国主義諸国は、資本の名において過剰生産恐慌を回避するためにあらゆる手段を使い、その矛盾をフィリピンなどの国々に転嫁しているのです。

戦闘的・革命的フィリピン人たちは、フィリピンにおける貧困の根源である帝国主義とたたかい続けています。

LFSはあなたたちとともに帝国主義とたたかいます。再度、心から

烽火

月刊 1部 200円
(通常号)

労働者人民の闘いの
進路を示す政治新聞

取り扱い書店

- 東京／明治大学生協 (東京都千代田区) 模索舎 (同・新宿区) ● 愛知／名古屋ウニタ (名古屋市千種区)
- 大阪／大阪ウニタ (大阪市天王寺区) 三鈴書林 (同・北区) 関西大学 生協 (大阪府吹田市) ● 兵庫／神戸大学生協 (神戸市灘区)

烽火の定期購読をおねがいします

■郵送(密封) 1年分………3,000円
2年分………5,000円

お申し込みは大阪戦旗まで

■郵便振替

00930-0-63333

■銀行口座

第一勧銀 551-1058150

○政局闘争
新たな反帝決起と連帯し国際統一戦線うち固めよ (四六四号)
AWC運動の発展を (四六五号)
朝鮮民主主義人民共和国への包囲・解体攻撃粉碎 (四六六号)

○党建基調
破たんする資本主義の前方に何を見るべきか (四六二号)
インター再建掲げ国際共産党の団結組織する党建設を (四六二号)
毛路線の限界突破し国際共産主義運動を再建せよ (四六三号)
二大保守政党制攻撃のもとでの党建設の任務 (四六五号)

○内外情勢
烽火年間総目次 (四六二～四七二号)
烽火の定期購読をおねがいします (四七二号)
日帝の国連安保理常任理事国入りを阻止せよ (四七二号)
二月アジア共同行動の成功を (四七三号)
細川訪米の示したもの (四六四号)
イタリア総選挙の結果 (四六六号)

○その他
烽火の定期購読をおねがいします (四七二号)
建都一二〇〇年祭を粉碎せよ (四七二号)
秋期闘争に総決起せよ (四七一号)
日帝の国連安保理常任理事国入りを阻止せよ (四七二号)
烽火の定期購読をおねがいします (四七三号)
烽火の定期購読をおねがいします (四七四号)

94年

一九九五年という歴史的な節目となる年が来ようとしています。九五年は第二次世界大戦終結・国連創設から五〇年目にあたり、日本にとっては敗戦五〇周年の年となります。戦後五〇年を契機にして、国際帝国主義による世界支配がいまいっそく強められようとしています。帝国主義は世界各地の「地域紛争」に対し、国際平和の維持という美名のもとで国連を使った共同の反革命介入

共産主義者同盟（全国委員会）

冬期一時金カンパのお願い

す。われわれはこれを支持し、この成功のために全力をあげます。プロレタリアート人民の国際連帯は、各國の階級闘争とりわけ帝国主義足下の階級闘争の発展にとって絶対に不可欠です。それはわが国の階級闘争を再建していくうえでも、決定的に重要な位置をもっています。

プロレタリアートの反帝国際共同闘争の飛躍と発展に力を尽くしながらわれわれは、その成果を基盤にして原則的な共産主義者間の国際的団結を強め、九五年には世界党再建に向けた確実な一步を踏み出していく決意です。国内外にわたる共産主義運動と階級闘争の再建のためのたたかいに、世界党と日本における前衛党建設のためのたたかいに、先進的労働者人民が結集し、ともにたたかうことをお願いします。



的生産様式が歴史的な行きつまりの時期を迎えたという状況が存在する

がゆえに、資本主義を下部構造とする帝国主義の攻撃は、とりわけ第三世界に対しては余裕のないものとなっています。日本帝国主義もまたこの動向に歩調を合わせながら、敗戦五〇周年を利用して戦後政治の総決算一国連安保理常任理事国入り、保守二大政党制の確立、憲法改悪、海

守一大政党制の確立、憲法改悪、海

ルワンダ周辺国への自衛隊派兵阻止

六月アジア共同行動の成功を (四六六号)
ARF粉碎闘争へ (四六八号)
村山連立政権打倒せよ (四六九号)
九月闘争アピール (四七〇号)
沖縄闘争の再生と飛躍かちとろう (四六六号)

○諸闘争
全國に反帝プロレタリア国際主義派の学生運動を (四六六号)
沖縄闘争の再生と飛躍かちとろう (四六六号)

○その他の題材
ついに打ち破られたアパルトヘイト体制 (四六七号)
ナポリサミットが示したもの (四六九号)
インドネシア情勢 (四六九号)
ARFが正式発足 (四七〇号)
新たな段階を迎えたネパールの人民闘争 (四七〇号)
ネパール人民に連帯を (四七二号)